

総会の報告 1

ガーデンを考える会、総会開催、上野会長続投 新たに「花と緑のまちづくり推進プロジェクト」に取り組む

ガーデンを考える会（上野和治会長）は平成30年度定時総会を6月12日午後、東京・浅草の共和会館で開催しました。

藤田茂副会長が司会となって進められ、まず最初に上野会長より「いろんな勉強会をしてきた。今後も勉強会を続けていくが、新たに『花と緑のまちづくり推進プロジェクト』を始めるので、会の新しい方向性が見えてくると思っています」旨の挨拶がありました。

続いて来賓挨拶では、環境省自然環境局総務課課長補佐の千田純子氏より、環境省のトピックスとして「第五次環境基本計画の概要」が発表され、6つの重点戦略の中で「暮らし」を設定しており、皆さんと大いに関係あるのではないかと。また読本「森里川海大好き！」を制作し学校などに配布しているが、「読本『森里川海大好き！』」で検索するとPDFデータのダウンロードができる、とした。

続いて、文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域学校協働推進室の佐藤貴大氏よりは「地域学校協働活動」について、教育は学校だけでなく、家庭教育、社会教育も併せ、地域全体で子供を育てることが重要である。特に近年、これからはAI時代となって仮想と現実の世界がはっきりしなくなってくるので、子供にとっては生身の体験、教育が今こそ重要。特に社会教育が重要と考えているので、「地域学校協働活動」を推進していきたい。ガーデンを考える会にも積極的に参画していただきたい、とした。



ガーデンを考える会総会会場



挨拶する上野会長



カエデ kaede

総会の報告 2

新規に「花と緑のまちづくり推進」活動を決議

中島吉之副会長が議長になって進められた審議では、平成29年度事業報告・決算報告、30年度事業計画・予算案を原案通り承認、2年に1度の役員改選も原案通り承認され、上野会長、藤田副会長、中島副会長など再任された。

審議最後に、上野会長より「花と緑のまちづくり推進プロジェクト」が提案され、承認された。同プロジェクトは、首長(市町村)と市民・ボランティア団体、専門プロ集団である「ガーデンを考える会」の3つの組織が有機的に連携を取り「花と緑のまちづくり」をすすめるもの。

総会後は、恒例の記念セミナーが開かれた。講演は「バラの可能性について」ROSE LABO代表取締役田中綾華氏、「暮らしを楽しむガーデニングについて」園芸家杉井志織氏、「花き産業の遺伝子組み換えの実態『GMOベチュニアの検査報告と今後について』」福花園種苗取締役磐城伸之氏の3題であった。講演にはメディア3社が取材に訪れた。



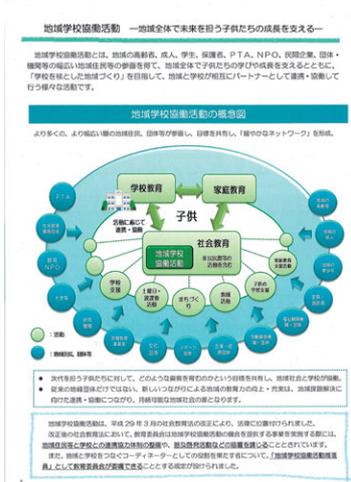
田中綾華氏



杉井志織氏



磐城伸之氏



Information about the 'Soil Learning Support Project' including a QR code and website URL: http://doyo2.mext.go.jp

Summary of the 5th Environmental Basic Plan, including sections on 'Current Issues', 'Sustainable Society', and 'Policy Outlook'.

Advertisement for the book '森里川海大好き!' (I love Forest, River, Sea) with a QR code for PDF download.



会からの報告 1

『花と緑のまちづくり推進プロジェクト』 始動！ 9月9日に九州大学で発起人フォーラム

実行委員会立ち上げ

今年の総会で新規事業として決議された「花と緑のまちづくり推進プロジェクト」が進みだしました。会では、さっそく実行委員会を立ち上げ、前田理事(園芸系)、小松理事(エクステリア系)、藤田理事(都市景観緑化系)の3名が中心となり、他にも実行委員を加えて積極的に『花と緑のまちづくり推進プロジェクト』を進めていくことになりました。

9月9日にキックオフフォーラム

まず最初にキックオフイベントとして、9月9日10時より、九州大学箱崎キャンパスにおいて「花と緑のまちづくりフォーラム」を開催する予定です(詳細が決まりましたら、案内します)。

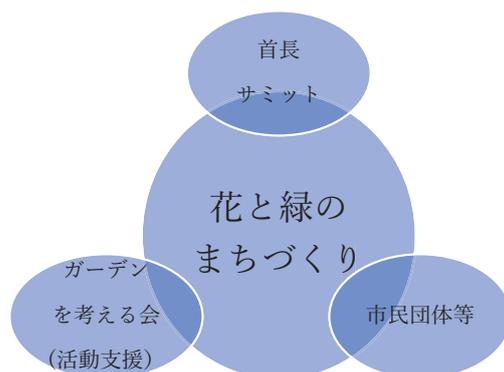
フォーラムでは、趣旨に賛同した全国の首長や市民団体などの活動報告、ビズ出版の八木編集長の基調講演、パネルディスカッションなどで、花と緑のまちづくりの重要性をうたいあげ「花と緑のまちづくり宣言」を行います。

この宣言を受けて、花や緑のまちづくりを進める全国の市町首長に首長連合への参加を呼び掛けていきます。また全国の市民団体、ボランティア団体は全国連絡協議会(仮)を作り、その活動を支援するのが園芸・設計施工プロ集団である我々ガーデンを考える会という構図になります。

「花と緑のまちづくりフォーラム」予定(7月5日現在)

- 日 時：2018年9月9日 10:00～12:30
- 会 場：九州大学箱崎キャンパス
- 内 容：①花と緑の首長報告、3市長
 ②基調講演「コミュニティーガーデンの重要性」ビズ出版・八木波奈子氏
 ③「実践・花と緑のまちづくり報告」①・②、市民団体、ボランティア
 ④「ガーデンを考える会の役割」上野和治会長
 ⑤参加者によるパネルディスカッション(司会八木氏、パネリスト3市長ほか)
 ⑥花と緑のまちづくり宣言

花と緑のまちづくり推進プロジェクト





会からの報告 2

2011年6月より2016年まで、ガーデンを考える会では東日本大震災の被災小学校を花と緑で支援する活動を続けてまいりました。

その中で、隣接する桑原小学校と統合した旧気仙沼市立小原木小学校校長より、当時の活動へ改めての謝意と、テレビ取材のおしらせをいただきましたので、そのFAXを掲載いたします。

当時、支援にご協力いただきました会員の皆様に、改めて御礼申し上げます。

発信日 平成30年 6月 27日

宛先 NPO 法人ガーデンを考える会 の皆様へ
FAX052-571-2208

旧気仙沼市立小原木小学校「一步」のテレビ放送のお知らせ

突然にFAXを送付させていただきますこととお許しください。

私は、宮城県登米市の千葉と申します。

平成25・26年度に気仙沼市立小原木小学校に校長として勤務しておりました。

この3月で定年退職後、登米市教育委員会の臨時職員として少しでも学校の多忙解消のお役に立てればと思い、お手伝いをさせていただいております。

当時、ガーデンを考える会の皆様には、たくさんの資材とともに花苗の植付けの指導・支援をしていただきました。子供たちは、仮設住宅で過ごしていらっしゃる皆さんとの交流しながら、かわいらしくきれいな花に囲まれてみんなが笑顔満面でした。

お陰様で校舎前の通路は一年を通して花に囲まれて、素敵な学校になりました。

本当にありがとうございました。

小原木小学校は平成29年度末で隣接する唐桑小学校と統合となり、閉校いたしました。

東日本大震災以降、皆様からたくさんの温かいご支援をいただきながら、なかなか御礼の気持ちを伝えることもできず申し訳ない気持ちで過ごしておりました。

本日、FAXいたしましたのは、今日の午後5時半頃からのNHK「シブ5時」で小原木小学校の「一步」が紹介されることになったからです。

震災以降にいただいた皆様からの温かいご支援に感謝する気持ちを忘れることなく、子供たちは新しい道をしっかり歩んでおります。

そのことをお伝えしたく、FAXを送信させていただきました。

是非、ご覧いただき、被災地から皆様への感謝の気持ちを感じていただければと存じます。

(臨時ニュース等がある場合は延期になる場合があります。その際は唐桑小Webページでお知らせするそうです。)

宮城県登米市 千葉 哲

E-mail : satoshi@schiba.net

携帯 09051831122

気仙沼市立唐桑小学校

宮城県気仙沼市唐桑町明戸 208 番地 6

TEL 0226(32)3142 FAX 0226(32)3071

<http://www.kesenuma.ed.jp/karakuwa-syou/>